

令和8年度

救助工作車Ⅱ型

(救助用資機材を含む)

仕様書

鳴門市消防本部

第1 総 則

- 1 本仕様書は、鳴門市消防本部（以下「消防本部」という。）が、令和8年度に購入する救助工作車Ⅱ型（以下「車両」という。）の艤装、性能及びこれらに関する事項について定める。
- 2 車両の製作にあたっては、本仕様書及び製作承認図書（契約後受注者にて製作すること。）に従うこと。また、車両及び取付品、取付装置並びに積載品、付属品はすべて新規製品を使用すること。
- 3 車両は本仕様書のほか、以下の法令等に適合し、かつ、緊急自動車としての承認が得られるものとする。こと。
 - (1) 道路運送車両法
 - (2) 道路運送車両法の保安基準
 - (3) 緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱
 - (4) 消防用車両の安全基準について
 - (5) その他必要な法令
- 4 車両は、品質管理及び環境対策のため、「ISO9001」「ISO14001」認証を取得しているシステムにより製造すること。
- 5 受注者は、契約にあたり本仕様書を了承し、不審な点については消防本部に質問し、十分に熟知した上で契約すること。
- 6 受注者は、契約後仕様書等について、消防本部と詳細に打ち合わせを行い、製作承認図等を消防本部に提出し、承認を受けた上で製作に着手すること。
- 7 受注者は、契約後製作にあたり、本仕様書に疑義が生じた場合は、消防本部 に連絡の上、承認または指示を受けること。
- 8 受注者は、製作にあたり、本仕様書を変更する必要がある場合、消防本部と打ち合わせの上、変更承認図書を提出し、承認を得ること。
- 9 受注者は、設計・製作・材料・部品等に関して、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
- 10 本仕様書に示す車両艤装、装備品については、消防本部の承認を得て同等品以上への仕様変更を認めるものとする。ただし受注者は、同等品以上に変更する場合、消防本部へ申し出を行い、諸元・性能・価格・納入実績等の比較表を提出し諾否を仰ぐこと。入札後の申請は認めない。
- 11 製作途中において、消防本部立会いによる中間検査を行うものとし、仕様書における製作内容の確認及び事前協議・承認図で確認できない事項について検査するものとする。
- 12 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けること。
 - (1) 艤装中間検査（塗装前艤装検査）

(2) 完成検査(納入検収時)

1.3 納期等は次のとおりとする。

(1) 納 期 令和9年3月31日(水)

※ただし、世界的な社会情勢の影響及び法規制に伴うマイナーチェンジ等に係るシャーシメーカーの対応等により、納期内の納入が困難となった場合は、消防本部と協議し、承認を受けるものとする。

(2) 納入場所 鳴門市消防本部

1.4 補 則

(1) 保 証 保証期間は、納入後1年間とし、保証期間後においても、消防本部の責任と認めない設計、資材、艤装等の不備による不具合が生じた時の修理は、各メーカー保証を含め、受注者の責任において無償修理等を行うこと。

(2) 登録諸経費 登録に関する一切の経費及び陸送費等は、受注者が負担すること。ただし自動車重量税及び自動車損害賠償責任保険料、リサイクル料については消防本部が負担するものとする。

(3) 講 習 受注者は納入後、車両や各資機材についての点検及び操作講習を3回以上実施すること。なお、本講習にかかる資料等の費用については受注者負担とし、消防本部と協議の上、日程を決定すること。

(4) 本仕様書に定めのない事項でも、受注者が公表している仕様工作上、当然必要であるものには、これを実施すること。

(5) 車両及び各資機材の燃料は満量で納入すること。なお、使用するオイルについてはメーカー純正品に限る。

(6) 更新の対象となる旧車両(徳島800は368)は、受注者が速やかに一時抹消登録手続きと、自動車損害賠償責任保険解約手続きを行い、抹消謄本を消防本部に提出し、報告するものとする。また、抹消手続きの費用は契約金額に含み、納車前の支払いの必要がある場合は、受注者が一時的に立て替えて支払うこと。さらに、受注者は旧車両に表示された消防機関名等を確実に消去し、赤色回転灯やサイレンアンプ等を取り外し、積載されている資器材とともに処分すること。

(詳細別途協議)

1.5 提出書類

受注者は、契約後速やかに消防本部と車両製作上の細部にわたる打ち合わせを十分に行った上で、下記の書類を3部製本提出し、車両製作の承認を受けること。

(1) 承認図書

ア 製作承認図書一式(A4ファイル目次インデックス付)

(ア) 艤装外観図(前、後、両側面及び平面図)

- (イ) 車体骨組図
- (ウ) シャーシ諸元明細書
- (エ) シャーシ組立図
- (オ) トランスミッション、PTO取付図
- (カ) キャビン架装図
- (キ) 動力伝達装置関係図
- (ク) 電気系統図及び配線図
- (ケ) クレーン装置図
- (コ) ウインチ装置図
- (サ) 照明装置及び伸縮装置図
- (シ) 救助資機材の配置図
- (ス) 油圧系統図
- (セ) 無線局免許状の写し、特定無線設備の技術基準適合証明の写し
- イ 製作工程表（納車までの日程含む）
- ウ その他消防本部が指示するもの

(2) 完成図書

受注者は納車時に、次の書類を提出すること。

ア 完成図書一式（A4ファイル目次インデックス付）

- (ア) 車両及び艀装5面図
- (イ) 自動車車検証原本（ダッシュボードに収納しておく）
- (ウ) 車両カラー写真5面（前、後、両側面及び上部）
- (エ) 工程写真（製作中及び作業、試験工程）
- (オ) 改造自動車等審査届出証の写し
- (カ) 自動車改造計算書

イ 各種保証書（A4ファイリングしたもの）

ウ 取扱説明書等

- (ア) 自動車及び装備品の取扱説明書
- (イ) 積載資機材の取扱説明書一式
- (ウ) 整備点検要領書

エ 納品書（内訳書含む）

オ 重量税・リサイクル料・自賠責保険領収証

カ 自動車車検証の写し ※車両登録後、消防本部にデータを送付すること。

キ その他消防本部が指示するもの

第2 規格及び仕様

1 シャーシ仕様

本車両に使用するシャーシは、国産自動車メーカーが、消防用自動車と公表した最新式のもので、最新の排ガス規制に適合し、かつ消防検定合格エンジンを搭載した、寒冷地仕様とする。また、シャーシの主要諸元は次のとおりとする。

- (1) 型式：5.5 t 級消防車専用ダブルキャブオーバー型シャーシ
(標準ルーフ、低床式)
- (2) 車両サイズは以下のとおり。
 - ア 全 長：7,800mm 以内
 - イ 全 幅：2,420mm 以内
 - ウ 全 高：3,250mm 以内
 - エ 車両総重量：11 t 未満
- (3) 乗車定員：6名
- (4) エンジン：水冷式ディーゼルエンジンで、エンジン出力74kw (100ps) 以上。消防検定出力を満たし、最新の排ガス規制に適合しているもの。
- (5) トランスミッション：マニュアルトランスミッション
- (6) 走行装置：4輪駆動方式パワーステアリング
- (7) 後軸仕様：11.3 t 仕様
- (8) ホイールベース：3,700mm 以上4,100mm 以下
- (9) タイヤおよびホイール：シャーシ標準サイズのオールシーズンタイヤとし、リアはダブルタイヤとする。また、ホイールについてはアルミホイールとすること。
- (10) 燃料タンク：100L 以上とする。
- (11) キャブチルト装置：電動油圧装置とし、手動操作も可能なものとする。
- (12) 動力伝達装置：トランスミッションPTO
(トランスミッションPTO 不要の場合は必要なし。)
- (13) フロントサスペンションおよびリアサスペンションを強化するとともに、フロントサスペンションは、スタビライザー付とすること。
- (14) フロントグリル、左右サイドミラーカバー及びミラーステイはメッキとする。

2 装備取り付け品及び付属品

- (1) バッテリー：145G51×2、レール引き出し式とし、バッテリー上部には保護カバーを設けること。ただし、ボックスを設ける場合はこの限りではない。
- (2) バッテリー充電管理器：バッテリー全自動管理器本体を車載し、外部AC100Vとコンセントマグネット式コードで接続して車両のバッテリー充電ができること。(コンセントマグネット式10m1本付)
- (3) インバーター：DC-AC1,500W程度
- (4) オルタネーター：24V-90A以上
- (5) オイルパンヒーター：消防車用・バッテリー充電管理器と兼用構造

- (6) A B S 装置
- (7) 左電動格納式ミラー
- (8) 助手席補助ミラー
- (9) エアコン：車両純正品
- (10) 各種灯火類
 - ア L E Dヘッドランプ
 - イ フォグランプ
 - ウ L E Dコンビネーションランプ
 - エ エンジンルームランプ
 - オ 車両サイドウインカー（左右各1）
- (11) 各種計器類
 - ア エンジン回転計
 - イ 油温計
 - ウ 電流計
 - エ エンジンアワーメーター
- (12) フロントスポイラーバンパー
- (13) 全席パワーウインド
- (14) 後退警報器
- (15) 坂道発進補助装置
- (16) サンバイザー：運転席及び助手席
- (17) 集中ドアロック（キーレスエントリー含む）
- (18) G P Sナビゲーションシステム（テレビチューナーレス、ラジオ機能付属）
 - ア モニターはカラー液晶（7インチ以上）とし、ダッシュコンソールボックス内に埋め込むこと。
 - イ 地図情報は、最新版で更新可能なものとする。
- (19) E T C 2.0車載器（セットアップ等の諸費用含む）
- (20) ドライブレコーダー：メーカー推奨品 SDカード付
 - G P Sを搭載し、ハイビジョン画質で常時録画機能付きであり、L E D信号機に対応していること。取付位置はフロントガラス上部とする。
- (21) 消火器20型
- (22) スタッドレスタイヤ：アルミホイール付（6本）
- (23) シャーシ付属品
 - ア マッドガード（樹脂製、全輪）
 - イ ナンバーフレーム（ステンレス製）
 - ウ フロアマット（全席）
 - エ オイルジャッキ純正品

- オ サイドバイザー（ステンレス製）
- カ ブースターケーブル（収納袋付）
- キ 三角停止表示板
- ク 非常用信号灯
- ケ 予備ヒューズ（一式）
- コ 車両標準工具
- サ スペアキー（3個）
- シ その他別表に定めるもの

(24) この仕様書において、指定した以外の装備については、消防用シャーシとして、メーカーが公表した標準取付品を装備すること。

第3 艀装の仕様

1 キャビン艀装（車内）

- (1) キャビン内の前部座席は、次のとおりとする。
 - ア 前部座席には、防汚シートカバーを取り付けること。
 - イ 助手席は呼吸器を収納できる空気呼吸器取付装置一体型シートとし、面体を収納できる棚またはフックを設けること。
- (2) キャビン内の後部座席後方部分を拡張し、室内空間を広げること。
- (3) キャビン内の後部座席は、次のとおりとする。
 - ア 後部座席には、防汚シートカバーを取り付けること。
 - イ 後部座席後方に空気呼吸器4基を設置できるよう、空気呼吸器固定装置を取り付けること。その下部に、資機材等を収納するボックス（スペース）を設け、背もたれは折畳み式にすること。また、空気呼吸器用面体を収納できる棚またはフックを設けること。
 - ウ 後部座席面は分割式とし、跳ね上げシートを設けること。なお、台座は極力薄型タイプとし、足元スペースは可能な限り広いスペースを確保すること。
 - エ キャビンバックパネルに小型携行資機材を収納できるフック等を取り付けること。（詳細別途協議）
 - オ 後部座席座面の下部に、前開き扉の収納箱を左右に設けること。収納箱の大きさについては別途協議すること。
- (4) 後部座席前方にクッション付ステンレス製手摺棒を設け、可動式S字フックを10個取り付けること。
- (5) 各ドアのフェンダー部及び踏み込み部にアルミ保護板を貼ること。
- (6) 各装備品の電気配線は内張りを通すものとし、キャビン貫通部は、雨水等の侵入を防ぐ構造とする。また、天井部の電装品及び各種配線の取付個所は、点検が容易にできる構造とすること。

- (7) キャビン後部ドア内側Bピラーに乗降用インナーグリップを設けること。
- (8) 運転席から操作し易い場所に、バッテリーメインスイッチを設けること。
- (9) キャビン内に、AC100Vコンセント2口を設けること。(詳細別途協議)
- (10) 前部中央付近にセンターコンソールボックスを設け、下記スイッチ類を取り付けること。なお、操作が容易に行えるよう各スイッチには銘板を付すこと。
 - ア 盤面灯
 - イ 10連スイッチボックス
 - ウ 音声合成式電子サイレン
 - エ モーターサイレンスイッチ
 - オ シャッター開閉確認ランプ
 - カ 照明塔未収納確認ランプ
 - キ クレーン未収納確認ランプ
 - ク ウインチ未収納確認ランプ
 - ケ 電子サイレンアンプ (マイク掛け含む)
 - コ 車載型無線機 (スピーカー内外切り替えスイッチ含む)
- (11) コンソールボックス付近に携帯無線機・図書類収納ボックス (A3サイズ以上) を1個以上取り付けること。(詳細別途協議)

2 キャビン艙装 (外観)

- (1) キャビンの構造は、シャーシ固有の鋼板製および必要に応じて適した素材を使用したダブルキャブで、チルト部は必要により補強し、電動油圧チルト装置および落下防止の支え棒を設けること。
- (2) キャビンの屋根にルーフステージと、スピーカー内蔵型の散光式警光灯を取り付けること。なおルーフステージは縞板を張り、6個所にD環フックを取付けること。
- (3) キャビンは4ドア式ダブルシートとし、乗降用アウターグリップはステンレス製とすること。また、各ドアのキャッチ部には再帰性反射テープ等を貼り付けること。
- (4) 各乗降用ステップには傷防止用アルミ縞板を設け、夜間でも安全に乗降しやすいようにドアの開閉と連動し、点灯および消灯する照明 (LED式) を設けること。
- (5) リアステップはワイドステップとし、足踏み部分はグレーチングタイプとすること。
- (6) 消防章を、フロントグリルの中央部に強固に取り付けること。
- (7) フロントバンパーは、ウインチ装置を取り付けられるようシャーシフレームを張り出し、その上部面にアルミ縞板を張り付けること。また、下部にはステンレス製バウシャックル (強度3t以上) 2個を左右に取り付けること。
- (8) キャビン後部左側に、旗立てパイプをステンレス製で設け、旗竿がネジで固定で

きること。

- (9) 車両に脱着可能（マグネット等）の緊急消防援助隊表示シートと県名表示シートを各3枚以上設けること。（詳細別途協議）
- (10) キャビン右側側面部に、外部100V入力コネクター（10m付き）を設け、バッテリー全自動管理者を介して停車時に車両のバッテリー充電ができること。また、入力コネクターはマグネット式で、オイルパンヒーターにも併用できるようにケーブル接続個所付近に切り替えスイッチを設けること。（取付位置等別途協議）

3 車体構造及び性能

- (1) 車体艤装は総合的な重量軽減を図り、車両重量のバランス配分を考慮して製作すること。
- (2) 車体の重要な点検箇所及び主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保すると共に、必要箇所には点検口または点検扉を設けること。
- (3) 車体艤装で、水のたまる恐れがある個所に水抜き穴を設けること。
- (4) 燃料タンクの給油口は、容易に給油できる位置に取付けること。また、油種を分かりやすい位置に明記すること。
- (5) 各操作部（ハンドル、レバー、スイッチ等）には、名称及び操作方法等を明記すること。
- (6) 車体は、ウインチ装置、照明装置、最後部にクレーン装置等を装備し、雨水等が侵入しない構造のオールシャッター式で、車体側面に左右各2枚のアルミ製シャッターを設け、内部に各種資機材の収納装置を設けること。
- (7) シャッターはバーリフト型の手動シャッターとし、ローラー方式で任意の位置で停止できること。また、引き降ろしベルトを取り付け、手動シャッターを閉めた状態で引き降ろしベルトが挟まらない措置を施すこと。
- (8) シャッター下部が接する部分は、塗装面保護のためステンレス製の保護材を取り付けること。
- (9) 車体の両側面はキャビンと一体感のある構造とし、上部をキャビン上面と同程度の立上げ構造とすること。
- (10) 保護枠、計器板、蝶番、手摺、その他の金属の露出部分及び外部に取り付けるボルト、ナット類は、すべてステンレス製とすること。
- (11) 車体の屋根及び各ステップはアルミ縞板製とし、キャビンの各ステップと乗降時に塗装面の損傷が予想される部分にアルミ製保護板を張ること。
- (12) 車体側面の立上げ部には、標識灯、赤色点滅灯、作業灯（LED式）及び耐荷重200kg程度のステンレス製D環を左右2箇所ずつ設けること。
- (13) フロントバンパー張り出し部の中央に、常時張引能力5t以上のウインチ装置を設け、左右に3t級ステンレス製ピンドルフック、下部にはステンレス製パウシャックル（強度3t以上）2個を、左右に取り付けること。また、フロントバン

パーに小型収納庫を設け、側面にはフロントウインチリモコン差し込み口または操作部を設けること。

- (14) キャビン後方右側面下部（後部座席ステップ後方）に車輪止めが収納できる扉式の収納庫を設け、左側面下部にはシャーシバッテリー（引き出し式）を配置すること。採用車両の規格により同ボックスが艤装困難である場合は、消防本部と協議すること。
- (15) 積載庫前部若しくは後方に、無線機外部送受信器、外部スピーカーを収納するボックスを取り付けること。（詳細別途協議）
- (16) 車体両側面下部（シャッター下部）に、大型の収納庫を設け、扉展開時はステップ兼用のチェーンレスステップとすること。また、収納庫内にはLED照明灯を必要数取り付け、点灯及び消灯は扉の開閉と連動すること。なお、軽量化と展開を容易にするため、扉内部には十分な剛性を持たせる構造とすること。
- (17) 車体両側面下部の収納庫扉およびリアフェンダーの扉は柱の無いピラーレス構造で、扉外側下部は車体内側に傾斜をつけ、扉の展開時には収納庫床面より内側に入るチェーンレスステップ構造とすること。また、リアフェンダーの側板は展開時ステップとして使用できる構造とし、前後の収納庫ステップと同等の高さに展開できること。なお、ステップの張り出しは極力抑え、ステップ間の移動を考慮した段差の生じない構造（フルフラット構造）とすること。
- (18) 収納庫扉及びリアフェンダー扉の内側にはアルミ縞板を張り、側面に再帰性反射テープを貼り付けること。
- (19) 両側リアフェンダー内に、作業灯及びシャーシに固定した許容荷重500kg以上のアンカーフック（回転リング式）を各2箇所取り付けすること。
- (20) 車体とクレーン操作部との間に、車体形状と一体の収納枠を設け、長尺物（バスケットストレッチャー等）が積載できる収納庫を設けること。なお、いずれの収納庫にも資機材固定用アタッチメントを取り付け、収納庫内及び扉には緩衝材を貼り付けること。（詳細別途協議）
- (21) 車体両側面下部の適正な位置にサイドフラッシャーランプ及びリフレクターを取り付けること。（詳細別途協議）
- (22) 車体両側面下部及びリアバンパー下部に、車幅灯と連動する保護枠付照射灯（LED式）を必要数取り付けすること。（詳細別途協議）
- (23) アウトリガー両側面に車体形状と一体の保護カバーを設け、アウトリガーの張り出しと連動した黄色のLED灯を取り付けること。また、保護カバーの側面に再帰性反射テープを貼り付けること。
- (24) 車体上部左側に三連梯子及びかぎ付き梯子が積載できる手動式昇降装置を取り付け、積み降ろし操作がすべて地上から容易に行える構造とすること。
- (25) 車体上部右側に脱着可能なアルミ縞板製収納ボックスを設けること。なお、収納

ボックスの寸法は、重量バランス等を考慮した最大容量とする。

- (26) 車体上部前方に照明装置塔体を収納するための支持台を設けること。
- (27) 天井面に容易に移動できるよう車体後部のクレーンの左右にそれぞれ乗降用のステップを設けること。また、ステップ付近には、必要に応じ手摺を設け、最上段は可能な限り広く踏み面を確保し、滑り止め加工を施すこと。
- (28) リアバンパーの上面はアルミ縞板張りとする。なお、燃料タンク給油口や点検口を備える場合には扉を設け、内部には照明灯を設けること。
- (29) リアバンパー後部にステンレス製バウシャックル（強度3 t以上）2個を取り付けること。また、コンビネーションランプ及びバックランプを左右に取り付けること。
- (30) リアバンパー後面中央部に収納庫を設け、チルホールが積載できること。また、リアバンパーから後部ステップへ容易に昇降できる大型の埋め込み式展開式ステップ（LED灯内蔵）をコンビネーションランプの下部に各1個所設けること。
- (31) 各扉、ステップ、はしご昇降装置等の、開閉状態や格納状態を、キャビン内で確認できるようにすること。
- (32) 扉及びシャッターの合わせ目は十分な水密加工を行い、取手及びロック装置は機能確実な金具とすること。
- (33) 各収納庫の寸法、艀装、取り付け位置及び形状の詳細は、消防本部と十分に協議すること。

4 本体艀装（積載庫）

- (1) 収納資機材の配置は消防本部と十分協議し、重量バランス、収納効率、軽量化対策等を考慮すること。
- (2) 積載庫に収納する資機材は、「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令別表第1及び別表第2」に掲げる救助器具とし、仕様書の別表1のとおりとする。
- (3) 各種資機材の収納方法は次のとおり。
 - ア 可能な限り同一用途にまとめて収納できること。
 - イ 重量物は可能な限り下部に収納すること。
 - ウ 高所に収納する資機材は取り出しが容易な構造とすること。
- (4) 資機材を収納する棚や枠はユニット方式とし、ユニット枠は軽量で強靱な素材を用いて製作すること。また、ユニット枠内の棚板は高さを変えられる構造とし、必要に応じて飛び出し防止枠や固定ベルトを設けること。（詳細別途協議）
- (5) 積載庫中央部を有効に活用するため、扉型展開式収納装置を設け、中央部に資機材が収納できる構造とすること。なお、収納装置には展開時の安全性を考慮し、再帰性反射テープを適正な位置に貼り付けること。
- (6) 空気呼吸器用予備ボンベ（6.8 L）5本以上を積載できる収納枠を設け、ワンタッチで脱着容易な金具を取り付けること。収納枠の寸法は消防本部と協議するこ

と。

- (7) 資機材は、可能な限りアルミ製ボックスに収納し、搬送を容易にするためのゴムラバー巻き取手を設け、外部から収納資機材が識別可能となるよう名盤を差し込める構造とすること。
- (8) 資機材収納ボックスにはマット等を敷き、資機材の保護を図るとともに、防水パッキン、水抜き穴等必要な処置を施すこと。
- (9) 積載庫に設ける扉型展開式収納装置は、ラッチ式固定のステンレスパンチングパネルとし、飛び出し防止のロック機能を備えること。また、外部から収納資機材が識別可能となるよう名盤を差し込める構造とすること。
- (10) 資機材は、容易に引き出せる構造とし、高所の資機材にあつては必要に応じ、斜め引き出しを設けること。
- (11) マット型空気ジャッキの収納部下部には個別に引き出せるローラーを取り付け、資機材の出し入れが容易な構造とすること。
- (12) ロープ、カラビナ、救助用縛帯類は、吊り下げフック付きの引き出しレール式とし、両側面は引っ掛かり防止のパンチングカバーを貼り付け、取り出しが容易な構造とすること。なおパンチングには資機材保護用のゴム板を張ること。
- (13) 資機材の固定はマジックベルト等を使用するなど、ワンタッチで容易に脱着できる構造とすること。
- (14) 積載庫を照射するためのLED灯を必要数設けること。なお、点灯及び消灯はシャッターの開閉に連動すること。
- (15) ステップ、ブラケット、タラップ手摺棒等を取り付ける部分には十分な補強を施すこと。
- (16) 骨組みや板材の切断端末には、危害防止の面取りを施し、飛び出したボルト類は短くするなどの加工を行うこと。
- (17) 積載庫内は十分な水密加工、防錆加工を施すこと。
- (18) 救助資機材等は、積載スペース、重量制限、転倒角度制限等を十分考慮し、可能な限り積載するものとする。なお、積載不可能な資機材については別途協議すること。

5 電装品関係の仕様

- (1) 赤色警光灯及び赤色点滅灯（詳細別途協議）
 - ア キャビン上部に散光式赤色警光灯（LED式）を設けること。
 - イ 赤色点滅灯（LED式）をキャビン前部に4個（フロントグリル内）、フロントバンパー側面に2個、両側上部側板に各3個、車体後部に2個（保護枠付）を取り付け、散光式赤色警光灯と連動すること。
 - ウ キャビン前部及び車体後部の赤色点滅灯は、キャビン内の艀装関係スイッチにOFFスイッチを設けること。

- (2) 作業灯（詳細別途協議）
- ア LED作業灯をフロントグリル上部に2灯取り付けること。
 - イ LED作業灯をキャビン上部作業台両側面に各1灯、車体両側面上部側板に各2灯取り付けること。
 - ウ 車体後面にLED作業灯を2灯（保護枠付）取り付けること。
 - エ 作業灯は単独回路とし、キャビン内艤装関係スイッチにメインスイッチを設け、各作業灯付近には個別のON、OFFスイッチを取り付けること。
- (3) 資機材庫及び収納庫内照明灯
- 資機材庫及び収納庫内の照明灯は、有効に照射できる照明灯（LED式）を各室内に必要数設け、点灯及び消灯を扉の開閉と連動する構造とするとともに、メインスイッチをキャビンの艤装関係スイッチで一括して操作できること。
- (4) 電子サイレン
- ア サイレンスピーカーは散光式赤色警光灯と一体のものとし、サイレン吹鳴時には全ての散光式赤色警光灯、赤色点滅灯と連動すること。
 - イ 音声合成装置は右左折時と後退時とし、右左折時は方向指示器と連動し、後退時はバックギアと連動すること。また、消防広報用メッセージ内蔵型とする。
- (5) モーターサイレン
- モーターサイレンのスイッチはプッシュボタンとする。
- なおスイッチは艤装関係スイッチに設けること。（取付位置別途協議）

第4 主要装置等の仕様

1 ウインチ装置

- (1) ウインチ装置は車両のPTOで油圧ポンプを駆動させ、常時張引能力5 t以上の前引き油圧ウインチとする。PTOの種別については、各メーカーが推奨し、消防車両に搭載するPTO（ウインチ装置用）として実績があるものとし、消防本部と協議し、承認を得るものとする。
- (2) ウインチ装置は、シャーシフレームに堅固に取り付けるとともに、ウインチメーカー標準施工を遵守し、正確に取り付けること。なお、架装に際しては、車体振動やねじれ等に、十分耐える強度を有する構造であること。
- (3) オイルタンクはクレーン装置と併用し、堅固かつ点検整備が容易な位置に適切に取り付けること。なお、タンクには外部から一目で油量が確認できる油量計を設けること。
- (4) ウインチとワイヤーロープの牽引角度は、全方位15度以上対応可能とし、乱巻やキンク等が発生しない構造であること。
- (5) ウインチドラムのクラッチ断の状態、ワイヤーロープが手動で容易に引き出せること。

- (6) ワイヤロープは外径13mm以上、長さ30m以上とする。
- (7) ウインチ装置には安全装置として、過負荷防止装置及び逆転防止装置を取り付けること。
- (8) ウインチ装置本体（車両前部に本体を架装した場合）周辺に、同個所周辺を有効に照射する照明灯（LED式）を取り付けること。点灯は単独作動スイッチを、収納庫またはアルミ縞板製カバー内のウインチドラム付近に設けること。
- (9) ウインチ装置は、キャビンチルトに支障のない構造とすること。
- (10) 有線リモコン操作又は無線リモコン（能力表示機能付）操作が可能であること。無線リモコンについては、クレーンリモコンとの兼用も可とする。
- (11) 仕様書に明記されていない点は、メーカーが公表している標準仕様とする。
- (12) ウインチの付属品は次のとおりとする。

ア	アイフック	5 t安全チャック、防錆メッキ	1個
イ	シャックル	ステンレス製2 t、5 t	各2個
ウ	滑車	5 t以上	1個

2 照明装置

- (1) バッテリー及び制御操作盤により構成し、夜間や暗所における救助活動を円滑かつ安全に実施できるよう、適切な照度及び広範囲にわたる視認性を確保できる屋上自動上昇式発電照明とする。
 - ア 投光器は、車体屋根上面に収納できるものとし、振動に十分耐えられるよう取り付けること。
 - イ 投光器は、伸縮、旋回及び上下俯仰できる構造のもので、有線リモコン及び無線リモコン操作により遠隔操作ができること。

3 クレーン装置

- (1) シャーシ後部に最大吊り上げ能力2.9t級のクレーン装置を架装すること。必要に応じ、シャーシフレームに補強を行い、堅固に取り付けるとともに、クレーンメーカー標準施工を遵守し正確に取り付けること。
- (2) クレーン装置は車両のPTOで駆動するものとする。PTOの種別については、各メーカーが推奨し、消防車両に搭載するPTO（クレーン装置用）として実績があるものとし、消防本部と協議し承認を得るものとする。
- (3) クレーン操作は手動及び無線リモコンで操作でき、無線リモコンは液晶デジタルリモコンを採用し、フック吊り下げ実荷重が常時表示されること。また、ウインチリモコンとの兼用も可とする。
- (4) 自動停止付き自動格納装置が装備されていること。
- (5) パーキングブレーキ未実施時、クレーン操作ができないインターロック装置を設けること。
- (6) クレーン手動操作部に、各操作レバーを有効に照射できるLED照明灯を設ける

こと。

- (7) アウトリガージャッキ用敷板（マグネット式）を左右のアウトリガー付近に各1枚取り付け、固定装置を設けること。
- (8) アウトリガーの張り出しと連動したマーカーランプ（LED灯保護枠付き）をアウトリガー上部に取り付け、シリンダー部には再帰性に富んだ反射材をゼブラ状に貼り付けること。
- (9) クレーンブーム先端に作業灯（LED式）を取り付けること。
- (10) アウトリガー両側面に保護カバーを設置すること。
- (11) ブーム旋回時または停止時の荷振れを抑制する荷振れ抑制装置を設けること。
- (12) ブームを伏せた状態で旋回操作を行う際、車体と接触する前に停止すること。ブーム伏せ操作をする際も同様とする。
- (13) クレーンの仕様は次のとおりとする。

ア 最大クレーン容量	2. 9 t 以上
イ 最大作業半径	7. 5 m 以上
ウ 最大地上揚程	9. 6 m 以上
エ 最大ブーム長さ	7. 5 m 以上
オ ブーム型式	軽量4段油圧伸縮式
カ フック格納方式	自動格納式
キ 駆動方式	P T O 油圧ポンプ駆動式
ク 操作装置	レバー操作、無線リモコン
- (14) この仕様書に明記されていない装備品及び付属品等は、メーカー標準仕様とすること。

第5 塗装及び記入文字

1 塗装、メッキ、研磨等

(1) 車体

塗装面は錆止めを施し、油類の清掃洗浄を完全に行い、乾燥を十分に行った後に塗装し、長期変色、剥離、亀裂等が生じないようにすること。また、車両下部に位置する収納庫の扉や可倒式ステップ等の隙間など、清掃が困難な部位からの錆の発生を考慮し、該当部分に対して十分な錆発生対策を講じること。

(2) 塗装

- ア 車体塗装は朱色とし、3回以上の塗装を行うこと。
- イ 各シャッターについても同様の処置を施し、朱色塗装とすること。
- ウ フロント及びリアバンパーのアルミ縞板は、防錆効果のある塗料を使用すること。
- エ 積載庫内は標準塗装とし、アンダーコーティング処理を施すこと。

- オ 車体下周りには塩害防止保護塗装を施すこと。
- カ キャビン内はシャーシ標準とすること。
- キ クレーンは黒色塗装とする。
- ク その他の部分の塗装色については消防本部と協議すること。

(3) メッキ・研磨等

- ア 砲金製のものはクロムメッキを施すこと。
- イ ステンレス部分を除き、メッキを必要とするものは受注者の標準仕上げとするが、長期変色、剥離、亀裂等が生じないように加工すること。

(4) 納入後1年以内に塗装部分の剥離、亀裂等が生じた場合は再塗装すること。

2 車両記入文字及びマーク

(1) キャビン左右後部ドア上部

- ア 記入文字 「鳴門市消防署」
- イ 書体 丸ゴシック体
- ウ 文字方向 左書き（左から書き出し）
- エ 文字色 反射白文字
- オ 文字サイズ 別途協議

(2) 車両名称の記入

- ア 記入文字 「鳴門R」
- イ 書体 丸ゴシック体
- ウ 文字方向 左書き（左から書き出し）
- エ 文字色 反射白文字（後面貼り付けの場合は白色）
- オ 文字サイズ 別途協議
- カ 位置等 別途協議

(3) 標識灯

- ア 記入文字 「鳴門救助」
- イ 書体 丸ゴシック体
- ウ 文字方向 左書き（左から書き出し）
- エ 文字色 黒色

(4) 左右シャッター一部

左右シャッター部にはデザイン及びロゴを記入すること。（詳細別途協議）

(5) 車体後部

- ア 記入文字 「鳴門市消防本部」
- イ 書体 丸ゴシック体
- ウ 文字方向 左書き（左から書き出し）
- エ 文字色 反射白文字
- オ 文字サイズ 別途協議

- | | | |
|---|-----|------|
| カ | 位置等 | 別途協議 |
|---|-----|------|
- (6) キャビン上部
- | | | |
|---|-------|--------------|
| ア | 記入文字 | 「鳴門救助」 |
| イ | 書体 | 丸ゴシック体 |
| ウ | 文字方向 | 左書き（左から書き出し） |
| エ | 文字色 | 黒色 |
| オ | 文字サイズ | 別途協議 |
| カ | 位置等 | 別途協議 |
- (7) 上部アルミボックス
- | | | |
|---|-------|---------------|
| ア | 記入文字 | 「徳島県」 |
| イ | 書体 | 丸ゴシック体 |
| ウ | 文字方向 | 縦書き（前部から書き出し） |
| エ | 文字色 | 黒色 |
| オ | 文字サイズ | 別途協議 |
- (8) クレーンブーム
- | | | |
|---|------------------------|-----------------|
| ア | 記入文字 | 「NARUTO RESCUE」 |
| イ | 書体 | 別途協議 |
| ウ | 文字色 | 白色 |
| エ | 文字サイズ | 別途協議 |
| オ | ブームには再帰性反射シールを貼り付けること。 | |
- (9) 追突事故防止用に、再帰性に富んだ反射テープを車体後部に貼り付けること。
（詳細別途協議）

第6 無線装置（詳細別途協議）

- 1 車載型消防救急デジタル無線装置（以下「無線機」という。）を消防本部が指示する位置へ新設すること。なお、携帯型無線機についても1基新設すること。また、設置後に消防本部立ち合いの下、総合試験を実施すること。
- 2 本業務に伴う総務省四国総合通信局への無線免許に関する申請を行うこと。
- 3 本事業に伴い発生する費用については、全て本案件の入札金額に含めること。
- 4 無線アンテナは、キャビン上部の電波障害が発生しない位置に取り付けること。なお、取り付け位置及び同付近の補強については、無線業者と受注者が協議すること。
- 5 外部無線送受信機収納場所については別途協議とする。
- 6 各種配線用導管を設置すること。
- 7 無線の取り付けについては、消防本部の指定する業者の指示を受けること。

第7 その他

- 1 シャーシ及び取り付け品は全て新品で新規製品とする。
- 2 本仕様書に定めのない事項についても、業者の公表した仕様、機能上若しくは製作上当然必要とされることについては、良心的に対処し施工するものとする。
- 3 取り付け品及び積載する付属品等の品名、数量については別表のとおりとする。また、本仕様書で指定する装備品及び積載品については、消防本部と協議した上で、同等品とすることができる。
- 4 消防用車両の安全基準への適合の検証及び納車講習等の技術指導にかかる諸経費、並びに中間検査に係る消防本部職員（2名）の旅費等については、入札金額に含むものとする。

別表1 付属品及び資機材（記載のないものについては本仕様書に準ずること）

1 車両

No	品名	内容	数量
1	シャーシ	ダブルキャブオーバー型4輪駆動方式 消防車専用シャーシ（5.5t級、低床式）	1
2	エンジン回転計	シャーシ固有品	1
3	油温計	シャーシ固有品	1
4	電流計	シャーシ固有品	1
5	エンジンアワーメーター	シャーシ固有品	1
6	オールシーズンタイヤ	アルミホイール付	6
7	集中ドアロック	全ドアキーレスエントリー付	1式
8	左電動格納式ミラー		1
9	助手席補助ミラー		1
10	LEDヘッドランプ		1式
11	フォグランプ		1式
12	LEDコンビネーションランプ		1式
13	エンジンルームランプ		1式
14	車両サイドウインカー	左右各1	1式
15	付属品	スペアキー	3
		三角停止表示板	1
		車両標準工具（専用収納箱付）	1式
		ブースターケーブル5m（収納袋付）	1式
		マッドガード（樹脂製・全輪）	4
		サイドバイザー（ステンレス製）	4
		ナンバーフレーム（ステンレス製）	2
		非常用信号灯	1
		オイルジャッキ（純正品）	1
		フロアマット（全席）	1式
		予備ヒューズ	1式

2 艀装

No	品名	内容	数量
1	キャビン・車体艀装	標準ルーフキャブ、センターコンソールボックス 積載庫、天井部アルミボックス、はしご昇降装置等	1式
2	塗装及び記入文字一式	塩害防止保護塗装含む 標準デザイン（反射材、車両側面のデザイン等）	1式

3 取付品及び付属品

No	品名	内容	数量
1	標識灯（黄色）	車体側面立上げ部（埋め込み式）	1 式
2	自動車用消火器	粉末消火器 20 型	1
3	赤色警光灯	LEDフラッシュ式（キャビン上部）	1 式
4	電子サイレンアンブ	赤色警光灯連動、消防広報用メッセージ付 音声合成機能付	1 式
5	後退警報器	音声合成機能	1 式
6	フロントスポイラーバンパー		1
7	サンバイザー	運転席及び助手席	1 式
8	坂道発進補助装置		1
9	車輪止め	ゴム製	4
10	乗降用インナーグリップ	後部ドア内側 B ピラー	1 式
11	乗降用 OUTER グリップ	ステンレス製	1 式
12	ウインチ装置	常時張引能力 5 t 以上	1 式
13	クレーン装置	軽量 4 段式、アウトリガー用マグネット敷板付	1 式
14	照明装置	ナイトスキャンチーフ LED NEO 180W-4 灯	1 式
15	車体後部ステップ	2 段グレーチングステップ	1 式
16	防汚シートカバー	運転席、助手席、後部座席	1 式
17	面体フックまたは棚	助手席、後部座席	1 式
18	空気呼吸器固定装置	後部座席後方（下部収納箱付）	4
19	携帯無線機ボックス	センターコンソールボックス付近	1
20	図書類収納ボックス	センターコンソールボックス付近 （A3 判地図が 2 冊以上収納可能なもの） ゼンリン鳴門市地図最新版 1 冊付	1
21	フロントピンドルフック	強度 3 t 以上	2
22	フロントバウシャックル	強度 3 t 以上	2
23	リアバウシャックル	強度 3 t 以上	2
24	車両側面展開ステップ	チェーンレス式	1 式
25	車体側面立上げ部支点	D 環（耐荷重 200 kg）、車体側面各 2	4
26	旗立てパイプ	キャビン後部左側	1
27	扉型展開式収納装置		1
28	資機材収納ボックス	アルミ製	1 式
29	緊急消防援助隊表示シート （県名表示シートも含む）		各 3 式 以上

30	フェンダー内支点	回転リング式アンカーフック、耐荷重500kg 左右各2	4
31	シャックル	ステンレス製2t、5t各2	4
32	ワイヤー用滑車	5t以上	1

4 軽微な変更として備えることができる取付品及び付属品

No	品名	内容	数量
1	タイヤチェーン	シングル用、バンド付	1式
2	車外無線送話機取出口		1式
3	GPSナビゲーションシステム	テレビチューナーレス、ラジオ機能付	1式
4	電動サイレン	赤色警光灯内蔵、プッシュ式(10連スイッチ)、マイク付	1式
5	キャブチルト装置	電動油圧式(手動操作も可能なもの)	1式
6	オイルパンヒーター	マグネット式、10mケーブル付(バッテリー充電管理器兼用)	1式
7	スタッドレスタイヤ	アルミホイール付	6
8	反射材		1式

5 その他の取付装置

No	品名	内容	数量
1	電動モーターサイレン		1式
2	ルーフステージ	縞板張り、D環6個付	1式
3	赤色点滅灯	フロントバンパー側面2、フロントグリル内4	6
		車体側面各3	6
		車体後部(保護枠付)	2
4	作業灯	フロントグリル上部2、ルーフステージ左右各1、車体側面左右各2	8
		車体後面(保護枠付)	2
		リアフェンダー内(保護枠付)左右各1	2
5	機装メインスイッチ		1
6	コンセント	AC100V(キャビン内)	2
7	路肩灯	LED式	2
8	車幅灯	LED式	2
9	積載庫内照明	LED式	必要数
10	サイドフラッシャーランプ	LED式	必要数
11	コンビネーションランプ	LED式	1式
12	助手席	空気呼吸器取付装置一体型	1
13	後部席	跳ね上げシート、折畳み式背もたれ、薄型台座	1式
14	インバーター	1500W程度(取付含む)	1
15	消防章	フロントグリル中央部	1
16	バッテリー充電管理器	取付含む(充電口はオイルパンヒーター兼用)	1式

17	S字フック	キャビン内手摺に取付	10
18	バックアイカメラ		1式
19	ETC車載器	規格 ETC 2.0 (セットアップ等諸費用含む)	1式
20	ドライブレコーダー	ハイビジョン画質、常時録画機能付、LED信号機対応SDカード(128GB)付	1式
21	車載型無線機	別途協議	1式

省令別表第1

一般救助器具

No	品名	型式・仕様	数量
1	かぎ付きはしご	関東梯子製 KHFL-TOT31	1
2	三連はしご	関東梯子製 KHFL-CT87	1
3	金属製ワイヤはしご	関東梯子製 KHFL-Y-11	1
4	空気式救助マット	対応高さ15m以上対応	1
5	救命索発射銃	レスキューショット J0008	1
6	救助用縛帯	ペツル ビタゴール C060AA00	1
		簡易縛帯	既存使用
		エバックハーネス	既存使用
7	平担架	CMC スパルタンチタニウム	1
8	ロープ		既存使用
9	カラビナ		既存使用
10	滑車		既存使用

重量物排除器具

1	油圧ジャッキ	オグラ/RP-R420 ラム	1式
2	油圧スプレッダー	オグラ/RP-S505	1式
		オグラ/RP-M40MX バッテリー BL4040F 2個	
3	可搬ウインチ	チルホールT-35 (10mワイヤー付)	既存使用
4	ワイヤーロープ	12mm×5m 2本	既存使用
		10mm×5m 1本	既存使用
		12mm×10m 1本	既存使用
		16mm×10m (被覆) 1本	既存使用
5	マンホール救助器具	MSA ワークマントライポッド MSA レスキューユーティリティーシステム	1式

切断器具

1	油圧切断機	オグラ/RP-V300 RP-V300用替刃(片刃) 2個 RP-V300用引張チェーンセット	1式
2	エンジンカッター	ハスクバーナ K770 純正ダイヤモンドブレード2枚・純正加圧式水タンク 3mホース付	1式
3	ガス溶断機	ペトロカッター(ボンベ含む)	1式
4	チェーンソー	ハスクバーナ 550XP Mark II 純正予備チェーン1本 ハスクバーナチャップス 携行缶(消防法適合品) 10ℓ 純正チェーンオイル	1式
5	鉄線カッター	ボルトクリッパー ZBC-600A	1

破壊用器具

1	万能斧	SET P7 マルチプライ(アルミニウムウェッジ付)	1
2	ハンマー	LOW HMR1300	1
3	携帯用コンクリート破壊器具	ストライカー	既存使用

検知測定用器具

1	可燃性ガス測定器	理研計器 GX-9000(サンプリングチューブ30m付)	1式
---	----------	------------------------------	----

呼吸保護用器具

1	空気呼吸器	ライフゼムA1-12(面体・カバー付一式)	5
	空気呼吸器用ボンベ	730CⅢAZ(所有者登録番号記載)	5

隊員保護用器具

1	皮手袋		既存使用
2	耐電手袋	ヨツギ製 YS-101-22-03	3
3	防塵メガネ		既存使用
4	携帯警報器	MSA モーションスカウト(SR-KTR-0622)	5
5	防毒マスク	3M製面体 6800DIN 吸収缶・フィルター付き	5式
6	化学防護服	マイクロケム	既存使用
7	化学防護長靴	シゲマツ RS-2	5
8	化学防護手袋	シゲマツ GL-11-37	5
9	隊員用ベスト	セイバーズMV-S1(徳島県隊・鳴門市消防本部)	5
10	保護プロテクター(肘用)	ALTA コンツアーエルボーパッド	5
	保護プロテクター(膝用)	ALTA コンツアーニーパッド	5

水難救助器具

1	救命胴衣		既存使用
2	バスケット担架用フロート		既存使用

その他の救助用器具

1	投光器一式	マキタ ML008G マキタ ライト用三脚 バッテリー BL4080F 2個	1式
2	携帯投光器	LEDLENSER P7R CORE	5
3	携帯拡声器	ノボル電気製 TS534L	2
4	携帯無線機	別途協議	1式
5	応急処置用セット		1式
6	バスケット担架	SKEDストレッチャー	既存使用
		ハーフSKEDストレッチャー	既存使用
7	スリング	シグナルスリング (1.5m) 青色	既存使用
		シグナルスリング (3m) 青色	既存使用
		シグナルスリング (5m) 青色	既存使用
		マルチスリング (2m) 黄色	既存使用
		マルチスリング (3m) 黄色	既存使用
		マルチスリング (5m) 黄色	既存使用
8	その他の携帯救助工具	斧	既存使用
		パール	既存使用
		のこぎり	既存使用
		かけや	既存使用
		鎌	既存使用
		スコップ	既存使用
		グラスソー	既存使用
		KTC 工具箱 SK3561WZR	1
		マキタ TD002GRDXB(インパクトドライバーセット)	1

省令別表第2

重量物排除器具

1	マット型空気ジャッキ	マイティバグー式	既存使用
2	救助用支柱器具	WEBER スタブバックセット	一式
		WEBER ステップチョーク	2

切断用器具

1	空気鋸	タイガーエアソー	既存使用
---	-----	----------	------

2	大型油圧切断機	オグラ/RP-C160 オグラ/RP-M40MX RP-C160用替刃(片刃) 2個 バッテリー BL4040F 2個	1式
3	空気切断機	マキタ JR002GRDX 刃(HM2、HM3 各2枚付)	1式

破壊用器具

1	削岩機	マキタ HM-002GZK バッテリー BL4040F 2個 充電器 DC40RB	1式
2	ハンマドリル	マキタ HR-006GZK バッテリー BL4040F 2個 超硬ドリル、ブルポイント、チゼル、コアアダプター	1式

呼吸保護用器具

1	送排風機		1式
---	------	--	----

隊員保護用器具

1	耐電衣	日本特装製 NT-YTG-KFD	3
2	耐電ズボン	日本特装製 NT-YTG-KFD	3
3	耐電長靴	ヨツギ製 YS-1111-09-07	3

その他の救助用器具

1	発電機	ホンダ EU18i 防雨型コードリール(30m)付き	1式
2	画像探索機	ビデオフレックス G4XXL	1
3	要救助者検索器具	ゾンデ棒	5
4	救助活動用足場	WEBER レスキュープラットフォーム	1
5	エアバッグ誤作動防止器具	WEBER エアバッグプロテクション	1式
6	伸縮式カラーコーン		既存使用
7	消火器具	スーパーミスト&CAFS武蔵	1式